

令和3年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事概要

日 時	令和4年3月24日(木) 10:00 ~ 11:30
場 所	播磨町役場第一庁舎3階 BC会議室
出席者	<p>【 播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 】</p> <p>鶴井 昌徹 (播磨町新島連絡協議会 会長)</p> <p>山田 文子 (播磨町商工会 理事)</p> <p>津村 道彦 (加古郡広域シルバー人材センター 事務局長)</p> <p>小川 佳宏 (兵庫県東播磨県民局 局長)</p> <p>濱 雅之 (加古川公共職業安定所 次長)</p> <p>田端 和彦 (兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長)</p> <p>破魔 淳司 (但陽信用金庫 地域創生部 副部長)</p> <p>圓行 弘幸 (播磨町労働者福祉協議会 幹事)</p> <p>坂本 竜之介 (神戸新聞社 東播支社 支社長)</p> <p>平岡 尚子 (住民委員)</p> <p>近藤 良慈 (住民委員)</p> <p>【 町 】</p> <p>清水 ひろ子 (町長)</p> <p>三村 隆史 (副町長)</p> <p>浅原 俊也 (教育長)</p> <p>岡本 浩一 (理事)</p> <p>武田 健二 (理事)</p> <p>長谷川 善一 (理事)</p> <p>高見 竜平 (理事)</p> <p>藤原 秀樹 (理事)</p> <p>高砂 幸伸 (会計管理者)</p> <p>【 事務局 】</p> <p>松本 弘毅 (企画グループ統括)</p> <p>野中 照代 (企画グループリーダー)</p> <p>長友 皓 (企画グループ主査)</p>

議事 1 開会・あいさつ

(町長)

平素は播磨町政に格別のご理解とご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、先日新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除されました。県民局様には連日感染者数等をご報告いただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、連日ウクライナ情勢の報道がされております。県の方針も示され、播磨町でも募金箱を庁舎内に設置させていただいております。1週間ほどの間にも大変多くの方々に募金をしていただき、関心の高さが垣間見られたと思っています。新型コロナウイルスも世界中の人々の生活に大きな影響を与えましたが、このウクライナ情勢も決して他人事ではなく、これからも社会や経済情勢に計り知れない影響を与えていくのではと感じています。

播磨町は今年、町制施行 60 周年という大きな節目の年を迎えます。まちが健全な形で持続していくためにはやはり戦略も必要ですし、また、多くの方々の協働によるお力添えが必要かなと思っています。これからも播磨町が順調に、本当に健全な形で歴史を重ねていくことができますように、本日の会議におきましても皆様方からいろいろと忌憚のないご意見を頂戴し、まちの未来像をご一緒に描いていくことができればと思っています。本日は限られた時間ですけれども、多くの方々にお集まりいただいております。最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。

議事 2 会長・副会長選出

(事務局)

播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱第 4 条に、「本会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定めること」とあります。

会長、副会長の選出はいかがいたしましょうか。

(事務局一任の声)

(事務局)

事務局へ一任というお声をいただきましたので、会長は、兵庫大学・兵庫大学短期大学部副学長 田端和彦委員、副会長は、播磨町新島連絡協議会 会長 鶴井昌徹委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ないでしょうか。

(異議なしの声)

(事務局)

ありがとうございます。 それでは田端会長、鶴井副会長、よろしく願いいたします。

(会長)

会長ということで皆様から託されたものと考えております。頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

昨日、兵庫大学・短期大学で卒業式を行いました。その時に、彼ら彼女らは、これから未来に責任を持たなければいけないという風に思いました。

町長からございましたように、これから大きな変革のある中で、本当に責任が重いと感じながら、では私たちは何をしなければならないのだろう、と考えますと、播磨町が60周年を迎え、持続可能な戦略を考えなければならない。つまり私たちが彼ら彼女らの未来のためにやらなければならないことというのはスターティングポイントを整えることなのだと改めて感じます。まち・ひと・しごと創生総合戦略がスターティングポイントにも位置づけられるということで、委員の皆さまの忌憚のないご意見を賜りながら、未来の責任を担っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(副会長)

副会長に就任させていただきました。町長から町制60周年という話がありましたけれども、新島ができて今年で50周年ということで、年始に神戸新聞でも新島の特集を組んでいただきました。播磨町の役に立っていけるように頑張っていきますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

議事3 報告事項

(1) 主要施策・KGI・KPIについて

(資料2及び3について、事務局による説明)

(委員)

資料3-KGI・KPIの進捗状況一覧-基本目標4-人口の社会増が目標値を非常に上回っています。その理由等はどうお考えですか。

(町長)

10年以上前になりますが、南東部に古宮区画整理事業がございました。しかし、一定数の賛同を得られなかったことから断念され、替わって浜幹線道路の全線開通を目指しました。それにより、播磨町役場の南側から西二見の間に大きな幹線道路ができました。そしてその周辺、農地も含め、現在もかなり宅地化が進んでおります。新しく居住される方も大変増えており、その周辺の中学、小学校でも子供たちが増えているという状況です。また、これからも家が建つ余地がございますので、まだまだ増えていくのではないかなと期待して

います。播磨南小学校は8クラスほど増やすということで、増築工事を予定しております。

交通至便なまちですし、昭和20年頃から大きな自然災害がないということ、人工島等、働く場所も周囲に多くあります。町内全域でも宅地化が進んでおりますので、それらが人口の社会増につながっているのではないかと思います。

私が就任した時には、合計特殊出生率も県下で最低ラインでした。まちを元気づけるため、この10年以上は子育て施策の中でメニューを増やし、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりました。今も学校関係につきましては、播磨町の財政が大きな負担をしております。予算の2～3割は教育費に充て、子育てしやすいまちという評価もいただいています。そうしたことも転入者が増えている一因になっているのではないかと思います。

(会長)

住宅が確保しやすくなり、働き場所もある。また、交通至便で暮らしやすく、子育て支援施策も評価されている。この辺りは今後も継続されていくので、KPIについては目標値を上回る可能性があるのではないかと思います。

(副会長)

資料3-KGI・KPIの進捗状況一覧-基本目標3-町内総生産額が目標値を大きく上回っています。町内の商工業者はそれほど大きく変わっていないのかなと思いますが、この要因をお聞きします。

(事務局)

資料3-KGI・KPIの進捗状況一覧は、県や国の統計資料に基づき作成しています。増加傾向にあるとは思いますが、今回、国の統計の基準が変わりまして、実績値は変更された基準に基づいて算出されているため、前年比でかなり大きな値になっております。分かりにくくなってしまい大変恐縮ですが、ご理解いただければと思います。

(会長)

基準が変わると変化が大きくなることは仕方のないことではありますが、基準値が変更になった場合は参考値という形で示していただくと、疑問が解消されるのではないのでしょうか。資料の作成時にはその辺りも考慮していただきたいと思います。

ある程度、KPIの実績値が目標値を上回っているものに関しては、そのKGIも上向きの数字が出ており、目標値の設定は間違っていなかったと改めて感じました。

先ほどのご報告や町長からのご説明にもありましたように、施策への反応も含めてKGIは概ね良好なのではないかと考えております。これからも戦略を進め、KGIの達成をしっかりと進めていただきたいと思います。

議事4 講演

テーマ：「これからの協働のまちづくり」

講師：播磨町まちづくりアドバイザー 佐伯 亮太 氏

(会長)

何かご質問等があればお願いします。

(町長)

先ほど佐伯さんは地味な活動とおっしゃったのですけれども、町にとりまして大変有意義な活動をしていただいております。今はメールでどなたでも町政に対して意見や要望が出せるような時代になっております。ただ職員は庁舎内で精いっぱい仕事をしておりますので、やはり地域や自治会と行政をつなぐ役割をする方というのが必要だなということで、佐伯さんにご就任いただいて、2年間頑張っていただいております。行政だけではできないことについて、やはり協働で地域、団体とか企業も含めて一緒に考え、解決策を見出していないといけないと思っておりますので、その橋渡し役として佐伯さんのような方の役割は大変重要だと思っております。

また、佐伯さんだけでは手いっぱいになりますので、企画の職員も一緒にいろいろと関わらせていただいて、スキルを他の職員も吸収しながら、これからのまちづくりに役立てていきたいと思っております。佐伯さんは今大変貴重な存在になられていますので、町にとりましては大変ありがたい存在です。

(会長)

先ほど町長からもありましたように町職員の関わりも非常に大事だなと思っております。町職員、公務員の役割をどう考えていくのか重要なところで、公務員の活躍の仕方として、そのライフステージも含め今後考えていかなければなりません。つまり、町長としてはまちづくりに関われるような公務員を育成していきたい思いもあるのかなと思います。

(委員)

まちに入っていくといろんな要望を聞かれると思います。前の道を直してくれとか、そういった行政直接の要望もたくさんあると思いますが、それはどのような処理をしているのでしょうか。

(佐伯アドバイザー)

実はあまりそういう要望はないのです。というのも、たぶん、僕に言ってもどうにもならないということを町民の皆さんは分かっている。それはたぶん行政懇談会をき

ちり開いて要望を出しているからだと思います。アドバイザーをどう使うかということを町民の皆さんがちゃんと学ばれてきているなど最近感じるところです。とはいえ、「お前がもっとやらんかい」と言われることはあるのですけれども、どっちがやるという話ではなくて一緒にやりましょうということを書いているので、それが良いかなと思っています。

ただ、中には担当課に僕が直接行って個別対応することもあります。

5 閉会